

平和祭典実施に向けての要請書

全国に誇る伝統行事「新居浜太鼓祭り」は、世代を超えて受け継がれてきた歴史と伝統、そして、どこに居ようともふるさと新居浜への想いを馳せる、人と人の絆を固くつなぐ私たちの誇りであります。まさに新居浜そのものと言っても過言ではありません。

本年5月の「大阪・関西万博2025」の太鼓台派遣事業においては、世界中の方々が固唾を呑んで見守る中、地域を超えた3台の太鼓台が熱い男たちの手で空高く差し上げられた寄せ太鼓は、関わる者、見る者をはじめとする多くの人々の脳裏に刻み込まれ感動の涙を誘いました。太鼓台の演技が言葉の壁を越え、同じ時間と空間を共有する者に大きな感動を呼び起こし、皆が一つになることの必要性和祭りの演技が新たなステージへと進んだ瞬間でした。

しかしながら、近年、多くの市民が望んでいない太鼓台同士の衝突や暴力行為が頻発し、残念な形で全国に伝わっています。こうした行為は、市民が待ち望んでいる本来の姿とは言えず、太鼓祭りだけではなく新居浜市の発展を妨げるものとなっています。

地元企業、新居浜警察署から危険行為禁止への要請が発出され、多くの皆様方が現状の祭りへ強い危機感を感じているものと重く受け止めております。

本市といたしましても、平和な太鼓祭りの実現に向け、関係団体との連携を強化し、ルールの見直しや啓発活動、安全対策の充実など、行政としての責任を果たすとともに、祭り関係者、市民、企業の皆様と共に、誇りある祭りを次世代へとつないでいく覚悟であります。

新居浜太鼓祭りの将来のためにも、太鼓祭りの本来の姿を取り戻し、未来に誇れる文化として継承するため、平和運行の徹底について要請をさせていただきます。

祭り関係者の皆様には、運営と参加において安全と秩序を最優先していただき、決して暴力や対立の場としてではなく、尊重と協力の精神を表現した素晴らしい祭礼となるよう、暴力行為に対する厳格な取り締まりをお願いするとともに、祭りに参加する際のルールについて改めて周知徹底をお願いいたします。

推進委員会委員の皆様には、平和な祭りの実現に向けた更なるご協力をお願いいたします。

令和7年9月30日

新居浜市太鼓祭り推進委員会委員 様

新居浜市長 古川 拓哉